

今月のピックアップ～トガリネズミ～

肌寒い風が吹く秋が来ました。食欲の秋です。

ニセコで一番の食欲の持ち主トガリネズミを紹介します。

トガリネズミってなにもの？

紅葉や秋空も良いですが、たまに地面に目を向けてみてください。運が良ければトガリネズミに出会えるかもしれません。初めは小さなネズミかな？と思いますがよく顔を見ると鼻先が長く尖っているのが見えます。

トガリネズミは、ネズミという名前がついていますが一般的なネズミとは実は種類が違うのです。

命懸けのフードファイター
トガリネズミは、小さいですが大変大食いなんです。身体が小さいためエネルギーを保存できず常に食べていないとすぐに餓死してしまうのでいっぱい食べます。あるデータの単純計算では、32万個のハチの繭を5頭で食べ切ってしまうほどなんです。



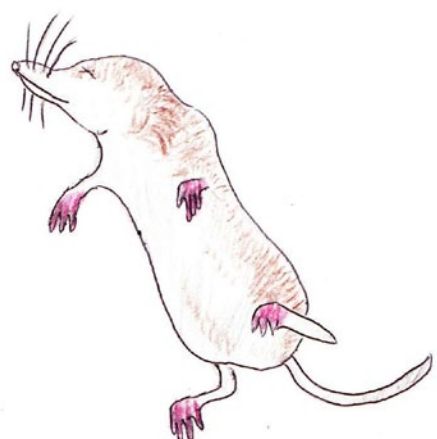
トガリネズミ
soricidae

～げっ歯目と食虫目～

分類学的にネズミ類はげっ歯目と呼びます。一般的なものでクマネズミやドブネズミ、エゾヤチネズミがやうです。対して、トガリネズミの仲間は食虫目に属します。食虫目の有名なものとしてモグラがいます。ネズミと名前にありますが、モグラの仲間なんです。モグラがいない北海道では、食虫目としてトガリネズミ属4種、ジネズミ属1種の計5種が生息しています。

トガリネズミは食べられない？

ニセコでは死んでしまったトガリネズミの姿を見ることがあります。キツネなど多くの動物がいる中で長い時間放置されているのは何故でしょう？それは、トガリネズミの体側部に臭腺があることが要因とされています。そのため好んで食べられないのです。



(すぎやん)

2011年
9月22日

発行：NPB
ねよ一み（村上尚美）
すぎやん（杉山辰也）
なつ（葛西奈津子）

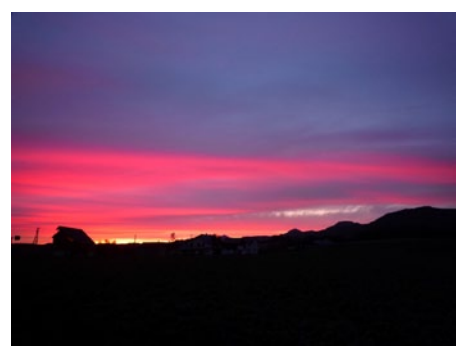
ニセコ
自然だより
第十七号

～子孫は最大の宝物～

産卵は命懸けの一生で最大のイベントです。サケの遡上する姿や、ガのしっかりと付いた卵には次世代へ生命を繋ぐ執念が感じ取れます。赤く輝くサケの卵は宝石の様に見え、まさに子は宝という言葉がぴったりでしょう。ちなみに遡上したサケを採ることは法律で禁じられています。

(すぎやん)

ニセコラム



青空に絹雲のかかった秋晴れの午後、空から目が離せません。太陽の周りに、日暈（ひがさ）や幻日（サンドック）といった光の現象がよく見られるからです。暈も幻日も、空気中の氷の結晶で太陽光が屈折して生まれる現象ですが、なかでも太陽の左右に明るい虹色のスポットが現れる幻日は、特殊な条件が重なったときだけ見られるラッキー現象です。見つけるコツは、太陽が比較的低い高さにあるとき、かなり離れた角度まで探すこと。ほかにも、燃えるような夕焼け（西の空）や、夕日を受けて刻々色を変える羊蹄山（東の空）も見逃せない光のショーですね。空を広く眺められるニセコならではの楽しみです。

(なつ)

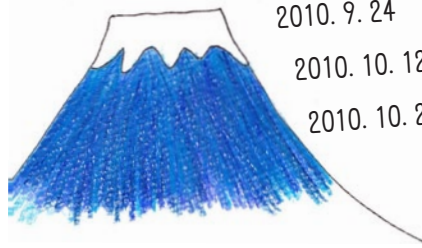
【今月のテーマ】 ニセコの秋模様 2010年の観察メモより

2010.10.1 アンヌフリ・イワオヌフリ
黄葉、色づききれい
紅葉、冷え込み厳しく赤を通りこして茶色に

2010.10.7 アンヌフリ・イワオヌフリ
黄色の葉なくなり全体的に茶色っぽい

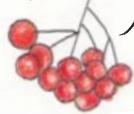
2010.11.7 ニセコエリア
カラマツ黄葉綺麗。ピークっぽい

2010.12.20 倶知安町
キレンジャクが実を食べにきていた



2010.9.24 羊蹄山初冠雪
2010.10.12 旭ヶ丘公園 ユキムシ2匹見た
2010.10.26 倶知安 初雪

2010.9.4 神仙沼 どんぐり成り始め
2010.9.17 半月湖 どんぐり成り始め
2010.9.15 旭ヶ丘公園 どんぐり落ち始める
2010.10.1 旭ヶ丘公園 どんぐりまだまだ落ちてた



昨年の今頃はミズナラがある所へ行くとどんぐりがごろごろと落ちていました。そんな豊作の年に対し、今年是不作の年ようです。道の12日の発表によると、餌不足から人里に出るクマが多くなると予想し、今秋の出没予想は6年ぶりの「大量出没」、捕獲数も過去最多の水準になる可能性があるとのこと。

紅葉の方は、今年は9/18頃からアンヌフリや羊蹄山の山頂辺りの木がほんのり赤くなり始めました。昨年は色づき始めた所で急激な冷え込みによって赤い葉が茶色くなってしまったので、今年はどうなるか気になる所です。ちなみに、昨年はカラマツハラアカハバチの幼虫によって、大量に葉を食べられてしまったカラマツ、今年はダメージもなく秋の黄葉が期待できそうです。

そして、羊蹄山2010年初冠雪は平年値より9日早い9/24でした。今年はどうでしょう。

～草紅葉～

紅葉は木だけでなく、草の葉っぱが紅葉する「草紅葉」というものもあります。山から紅葉の便りが届く頃、平地の身近な野草にもこうした色の変化が見られ始めます。

秋晴れの暖かい日、近所を歩く時にでも足元のさりげない秋を探してみませんか。

(ねよーみ)



【ねよーみの自然観察メモ】

ナナカマド	実オレンジ色づき始め	倶知安	8/25	ゴゼンタチバナ	赤い実たくさん	羊蹄山	9/11
スズメバチ	巣を撤去	ひらふハイキングコース	8/26	コケモモ	赤い実たくさん	羊蹄山	9/11
クスサン	20-30匹街灯で乱舞	ニセコ有島	8/27	イワギキョウ	数株花	羊蹄山	9/11
クスサン	保管中のまなぎ羽化	倶知安	8/27	エゾオヤマリンドウ	開花中	羊蹄山	9/11
クスサン	100匹以上集結	サンスポーツランド	9/8	草紅葉	はじまりかけ	羊蹄山	9/11
アブラゼミ	初鳴き	倶知安	9/4	エゾゼミ	かろうじて鳴く	真狩	9/11
アリスイ	さかんに鳴く	倶知安	9/4	ナナカマド	実赤く色づき始め	倶知安	9/14
アカナラ	未熟どんぐり落ち始め	倶知安の公園	9/4	紅葉	山頂部、ほんのり色づき	アンヌフリ	9/18
ウラジロナナカマド	赤い実たくさん	羊蹄山	9/11	紅葉	山頂部、ほんのり色づき	羊蹄山	9/19